

平成 31 年度

# 適性検査 I

## 注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、【問 1】から【問 4】まであり、問題冊子の 2～11 ページに印刷されています。
- 3 問題冊子とは別に、2 枚の解答用紙（解答用紙①は【問 1】から【問 3】用、解答用紙②は【問 4】用）があります。解答は、すべて解答用紙の  の中に書きましょう。
- 4 検査が始まってから、印刷がはっきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげてください。
- 5 下書きなどが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いましょう。
- 6 字数を指定された解答については、句読点（。、）や、かぎカッコ（「 」『 』）なども 1 字に数えて答えましょう。
- 7 算用数字で答える場合は、2 桁ごとに 1 マスを使いましょう。
- 8 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きましょう。
- 9 2 枚の解答用紙それぞれに氏名、受検番号をまちがいのないように書きましょう。
- 10 ふりがながふってある文字については、答えをひらがなで書いてもかまいません。

【問1】 努<sup>つとむ</sup>さんは、総合的な学習の時間に、信州のみそをテーマにみその歴史や長野県のみそ作りについて調べ、レポートにまとめようと考えています。各問いに答えなさい。

(1) 下書きア～ケを内容やつながりを考え並べかえる時、下書きウ、エ、オ、カ、クを最もふさわしい位置に入れなさい。

ア → イ →      →      → キ →      →      →      → ケ

下書き

ア みそ作りは全国各地で行われていますが、資料1のように特に長野県で盛んです。	資料1 図表
イ みそ製造会社のウェブページで調べたところ、みその起源 <sup>きげん</sup> は中国で作られた、肉や魚を <sup>ざつこく</sup> 雑穀や <sup>こうじ</sup> こうじ、塩などといっしょにつけこんだ「醬」だといわれています。まだ「醬」になっていないものがとてもおいしかったので、これが「未醬 <sup>みしょう</sup> 」と名付けられ、やがてそれが「みしょ」となり「みそ」となったそうです。	
ウ また、昭和初期に多くの製糸工場が生産をやめると、工場の建物がみそ作りに使われるようになり、大量に生産するようになりました。	
エ 戦国時代になると、武将 <sup>ぶしやう</sup> たちは戦場での食料としてみそを持ちました。保存 <sup>ほぞん</sup> ができて栄養食だったからです。武田信玄 <sup>たけだしんげん</sup> は信濃国 <sup>しなのくに</sup> の人々に、みそを作らせたことがわかっています。	
オ みそ製造会社の方の話では、長野県には、みその原料である大豆 <sup>さいばい</sup> の栽培に適した川沿いの赤土の南向きのしゃ面があったことも、みそ作りが発達した理由の一つではないかとのことです。	
カ ある本によると、鎌倉時代 <sup>かまくら</sup> に、信濃国出身の覚心和尚 <sup>かくしんおしょう</sup> が中国からみその作り方を持ち帰り、人々に広めたそうです。	
キ その後、長野県のみそが全国的に有名になったのは、1923年に起きた関東大震災 <sup>しんさい</sup> の時です。大きな被害 <sup>ひがい</sup> を受けた東京に、長野県から <sup>きうえん</sup> 救援物資として送られたみその味と品質の良さが評判を呼び、全国へ広がるきっかけになりました。	
ク さらに、きれいな空気 <sup>めく</sup> に恵まれ、湿度 <sup>しつど</sup> が低い気候のため、みそが傷みにくいことも、みそ作りが盛んになった要因ではないかと言っていました。	
ケ こうしてみると、社会の情勢や気候などの自然環境 <sup>かんきやう</sup> もみそ作りが盛んになった理由だと知りました。	

※雑穀…米・麦以外の穀類をまとめて呼ぶときの呼び名。豆やそば・黍<sup>あわ</sup>・粟<sup>あわ</sup>など。 ※こうじ…米・麦・大豆などを蒸してねかし、コウジカビ<sup>ほんしゆく</sup>を繁殖させたもの。 ※救援物資…災害などの被害にあった人や地域<sup>ちいき</sup>に送られる物資のこと。

- (2) (1)下書きアの資料1に入る図表として、最もふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

図表


<p>ア 「みその種類と分布」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>著作権法に基づき、 公開しません。</p> </div>	<p>イ 「みその産地とブランド名の一例」</p> <table border="1"> <tr> <td>長野県</td> <td>信州みそ(米みそ)</td> </tr> <tr> <td>愛知県・岐阜県・三重県</td> <td>東海豆みそ(豆みそ)</td> </tr> <tr> <td>宮城県</td> <td>仙台みそ(米みそ)</td> </tr> <tr> <td>香川県</td> <td>讃岐みそ(米みそ)</td> </tr> <tr> <td>鹿児島県</td> <td>薩摩みそ(麦みそ)</td> </tr> </table> <p>(農林水産省ウェブサイトより作成)</p>	長野県	信州みそ(米みそ)	愛知県・岐阜県・三重県	東海豆みそ(豆みそ)	宮城県	仙台みそ(米みそ)	香川県	讃岐みそ(米みそ)	鹿児島県	薩摩みそ(麦みそ)																										
長野県	信州みそ(米みそ)																																				
愛知県・岐阜県・三重県	東海豆みそ(豆みそ)																																				
宮城県	仙台みそ(米みそ)																																				
香川県	讃岐みそ(米みそ)																																				
鹿児島県	薩摩みそ(麦みそ)																																				
<p>ウ 「1世帯あたりみその年間支出金額」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>新潟市</td> <td>2997円</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>長野市</td> <td>2891円</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>盛岡市</td> <td>2794円</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>熊本市</td> <td>2755円</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>浜松市</td> <td>2680円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※世帯…同じ家に住み、生活を共にしている人の集まり。 (「総務省家計調査(2018)」より作成)</p>	順位	都市名	金額	1位	新潟市	2997円	2位	長野市	2891円	3位	盛岡市	2794円	4位	熊本市	2755円	5位	浜松市	2680円	<p>エ 「都道府県別みそ製造会社の出荷量」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>みそ出荷量(t)</th> <th>全体にしめる割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野県</td> <td>202611</td> <td>約43.9%</td> </tr> <tr> <td>愛知県</td> <td>40240</td> <td>約8.7%</td> </tr> <tr> <td>群馬県</td> <td>27741</td> <td>約6.0%</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>25211</td> <td>約5.5%</td> </tr> <tr> <td>大分県</td> <td>17094</td> <td>約3.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「経済産業省工業統計(2018)」より作成)</p>	県名	みそ出荷量(t)	全体にしめる割合	長野県	202611	約43.9%	愛知県	40240	約8.7%	群馬県	27741	約6.0%	北海道	25211	約5.5%	大分県	17094	約3.7%
順位	都市名	金額																																			
1位	新潟市	2997円																																			
2位	長野市	2891円																																			
3位	盛岡市	2794円																																			
4位	熊本市	2755円																																			
5位	浜松市	2680円																																			
県名	みそ出荷量(t)	全体にしめる割合																																			
長野県	202611	約43.9%																																			
愛知県	40240	約8.7%																																			
群馬県	27741	約6.0%																																			
北海道	25211	約5.5%																																			
大分県	17094	約3.7%																																			

- (3) 努さんはこれまでまとめた下書きに見出しをつけようとしています。下書きの内容から判断して、最もふさわしい見出しを次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- |   |              |   |             |
|---|--------------|---|-------------|
| ア | みそ作りの始まりと広がり | イ | みその原料と大豆の栽培 |
| ウ | みそ作りの歴史と食べ方  | エ | みそと自然災害の関係  |

- (4) 調べ学習をする中で努さんは資料2を見つけ、次のような疑問をもちました。努さんの疑問に対して、下の①、②に関するあなたの考えを書きなさい。

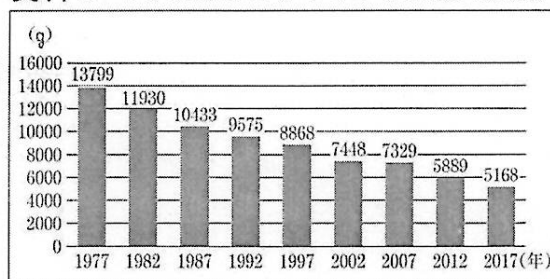
疑問



みその購入数量が減ってきていることがわかりました。みそは、歴史も長く、全国で食べられてきたのに、どうしてかな。

※購入…買い入れること

資料2 「1世帯あたりみその年間購入数量」



(「総務省家計調査(2018)」より作成)

- ① みその購入数量が減ってきた理由として考えられること。
- ② ①に関して調べる際、どのようなことがわかる資料が必要か。

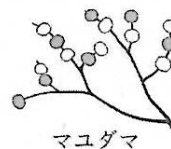
【問2】 地区の祭りである「どんどやき」に参加したあと、優さんはお母さんと話しました。各問いに答えなさい。

お母さんとの会話

優：みんなで火の周りでマユダマを焼いて食べて、おいしかったね。お母さんが子どものころもあったのかな。

母：あったよ。ダルマや松飾りを燃やす「火祭り」は、いろいろな地域で行われていて、県内では、どんどやきと呼ぶところが多いよ。でも、私の生まれた地区では、「さんくろう」と呼んでいるよ。

優：同じ行事なのに呼び方がちがうんだね。どんどやきって、どのようにして始まったのだろう。



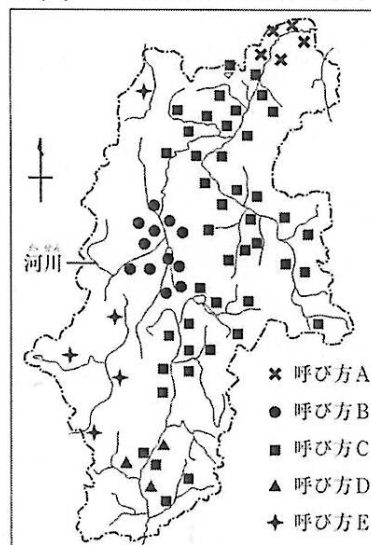
(1) 優さんは、どんどやきについて図書館で調べたり、公民館長の山田さんに話を聞いたりして、地図とメモを作りました。

地図 「火祭り」の主な呼び方

① お母さんとの会話と地図から、どんどやきという呼び方を表す記号として最もふさわしいものを次のア～オから1つ選び、記号を書きなさい。

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| ア | 呼び方A | イ | 呼び方B |
| ウ | 呼び方C | エ | 呼び方D |
| オ | 呼び方E |   |      |

② 地図を見て、呼び方A～Eを比べたとき、疑問に思うことを「呼び方ーは…けれど、呼び方＝が～のは、なぜだろう。」という形で書きなさい。



(「長野県史(1991)」などより作成)

メモ

- 平安時代の宮中の行事が始まり。江戸時代に全国に広がったといわれ、「さぎちょう」と呼ぶところもある。
- 地区でしめ縄や松飾りを集めて燃やし、米の粉をねって作ったイネノハナやマユダマを焼いて食べるとかぜをひかないといわれる。
- イネノハナやマユダマは、前の日に子どもたちもいっしょに作り、柳の枝にさして、豊作を祈って神棚などに飾った。
- 1920年ごろには、イネノハナに加えてマユダマも作られていたらしい。
- 書き初めを燃やし、高くまい上がると字が上手になるといわれている。
- 子どもたちが協力して松飾りなどを集める。「どんどやきにコーヨ」と太鼓をたたきながら地区内を回る。
- 昔より参加する子どもの人数は減っている。

③ 次に優さんは、お母さんとの会話や地図、メモをもとに、内容のまとまりにしてタイトルをつけ、まとめ1に整理しました。

まとめ1

<p>【 A について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県の多くの場所で行われている。</li> <li>・場所によって、呼び方がちがう。</li> <li>・全国でも同じような火祭りが行われている。</li> </ul>	<p>【 B とやることについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊作になるように、神棚に飾る。</li> <li>・かぜをひかないように、イネノハナやマユダマを焼いて食べる。</li> </ul>
<p>【 C について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネノハナやマユダマを作る。</li> <li>・太鼓をたたきながら地区内を回る。</li> <li>・ E</li> </ul>	<p>【 D について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の宮中の行事であった。</li> <li>・江戸時代に全国に広がった。</li> </ul>

i) A ~ D に最も当てはまるタイトルを、次のア~カからそれぞれ1つずつ選び、記号を書きなさい。

ア	呼び方	イ	子どもの関わり	ウ	分布
エ	歴史	オ	願い	カ	昔と今

ii) E に当てはまる言葉を、メモからぬき出して書きなさい。

(2) 図書館で資料1・2を見つけた優さんは、次のように考えました。

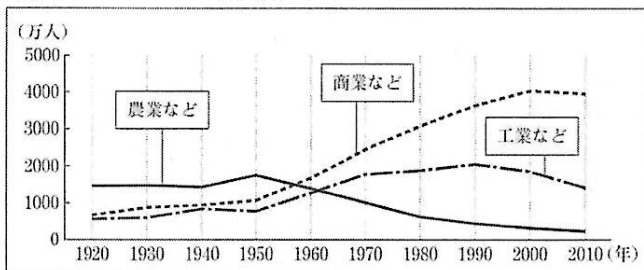
優さんが考えたこと

イネノハナやマユダマという名前から、α1920年ごろのどんどやきは、今より人々の生活とつながっていたのではないかと思う。

クラスで参加した町の夏祭りのおどりは、学校や職場などのグループでの参加が多かった。今のお祭りも生活と関係していることがあるのかな。

下線部αに関わって、「イネノハナ」または「マユダマ」どちらかの由来について資料1・2から根拠となる資料を1つ選び、その理由を書きなさい。

資料1 日本の産業別の人口の変化



(「総務省統計局」資料より作成)

資料2 \*養蚕農家の数(戸)

年	長野県	全国
1920	162519	1891000
2016	18	349

(「大日本蚕糸会」資料などより作成)

\*養蚕…かいこを、たまごから飼いで、まゆをとること。

- (3) 優さんは、祭り与生活とのつながりについて、さらに知りたいと思い図書館で資料3とY町の公民館だよりを見つけ、わかったことをまとめ2に整理しました。

資料3 県内の主な夏祭りの目的など

名前	始まった年	始まった時の目的など
長野びんずる	1971年	「市民総和楽」市民が参加し実行する市の経済の発展 *和楽…やわらぎ楽しむこと。
上田わっしょい	1972年	すべての市民が一つに心を合わせる祭り まちの活性化
松本ぼんぼん	1975年	商店街の活性化
飯田りんごん	1982年	商店街の活性化と、同じ体験をすることで、 連帯と協調の輪を広げること

Y町の公民館だより

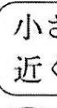
(各「市史」などより作成)

Y町では、江戸時代から続くといわれるお祭りで、24年間とぎれていた屋台をひくことを復活させた。それぞれの地区では、倉庫にねむっていた屋台を協力して直すなどして、住民がお祭りにより積極的に参加するようになった。

【各地区の方々のお話】



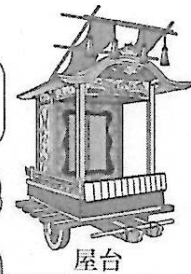
先人の願いが込められている。地区の人々とのきずなを深め、子や孫の代まで伝えていきたい。



小さな地区なのに世代間の交流が少なく、これまでは、近くに住む子どもの顔がわからないという感じでした。



ふだん話す機会のない人とも交流できた。先人が残してくれたものにはそういう意味もあるんですね。



屋台

まとめ2

(「信濃毎日新聞」などより作成)

- ㊦ どんどやきや寺社のお祭りなどは、1年の豊作や健康を祈り県内の様々な場所で受けつがれている。 **F** ごとで行われる。
- ㊧ 長野びんずるや松本ぼんぼんなどは、㊦のお祭りとちがい **G** のために、約40～50年前に始まった。学校や職場などの仲間と参加する。
- ㊨ どちらのお祭りでも、 **H** ことを大切にしているという人々の願いは、共通している。

- ① **F** に当てはまる言葉を、Y町の公民館だよりからぬき出して書きなさい。
- ② **G** に当てはまる言葉を、資料3をもとに書きなさい。
- ③ **H** に当てはまる言葉を、資料3とY町の公民館だよりをもとに書きなさい。

【問3】 真<sup>まこと</sup>さんたちは、歩行者の交通事故を防ぐ方法について考えています。各問いに答えなさい。

(1) 真さんが家族でドライブに行った時のことをもとに、話し合い1をしています。  
話し合い1

真：この前、家族でドライブに行った時、  
図1のような交差点に入るとすべての車が時計回りに通行する、環状交差点を通りました。まっすぐ進めなかったり信号機がなかったりして、運転していたお父さんも、乗っていたぼくもとまどいました。

愛<sup>あい</sup>：どのように通過したのですか。

真：ぼくたちの乗った車1は、東の道へ進みたかったので、交差点に入ったら西方向に進み、そのまま環道に沿って時計回りに進んで、東の道に出ました。

愛：なるほど。この交差点は、入る時も出る時も車は **A** するのですね。

すべての車が時計回りに進めばぶつかる危険は低そうだけど、信号機がないと、歩行者には危ないと思います。

仁<sup>ひとし</sup>：でも、図1の歩行者1と図2の歩行者2

が横断する場合を比べてみると、環状交差点の方が **B** ので、歩行者にとって安全確認がしやすいのではないですか。

真：ぼくは、車が環道に次々と入っていく様子を見て、歩行者にとっては危ないと感じました。車にとってはよいことが多そうだけど、信号機がある交差点の方が、歩行者は安心して安全だと思います。

図1 環状交差点

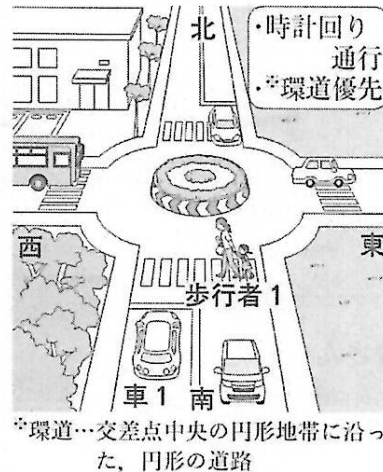
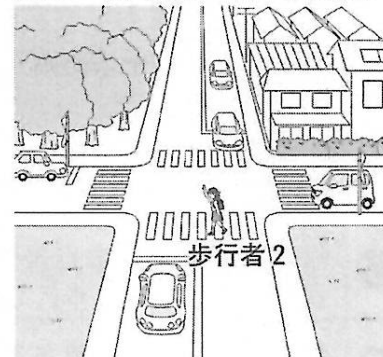


図2 信号機のない交差点



① **A** に当てはまる言葉を、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

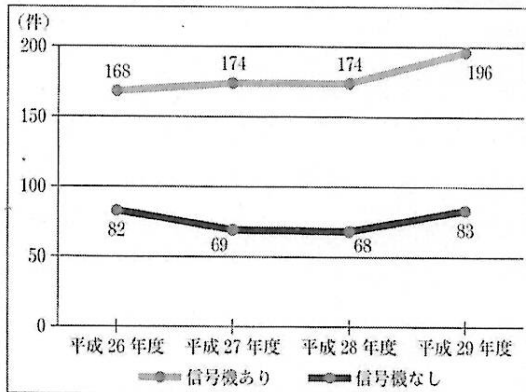
[ ア 必ず左折    イ 必ず直進    ウ 必ず右折    エ 必ず一周 ]

② 図1と図2をもとに、歩行者1と歩行者2が横断する場合を比べ **B**

に入るふさわしい言葉を、10字以上20字以内で書きなさい。

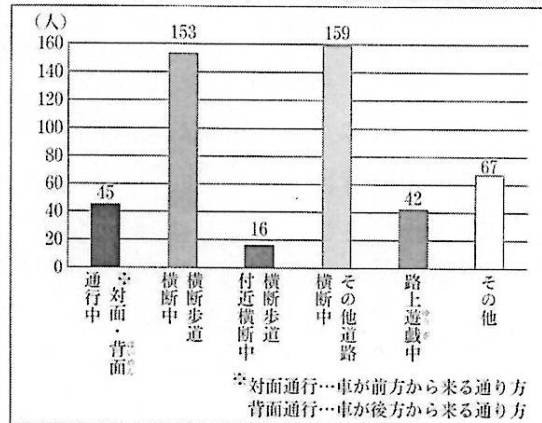
(2) 真さんは、長野県警察本部のウェブページで、歩行者の交通事故に関する資料1・2を見つけ、考えたことをまとめました。

資料1 横断歩道横断中における人対車両の事故件数



(長野県警察本部交通企画課資料より作成)

資料2 平成25~29年度小学生歩行中の事故類型別死傷者数



(長野県警察本部交通企画課資料より作成)

真さんの考え

資料1について

資料1を見て **C** ということになった。車や歩行者が信号に従わなかったり見落とししたりするのかもしれない。

資料2について

**D** の死傷者数が、**E** の死傷者数の、約7倍になっている。横断歩道やその付近を渡っていても事故にあって人が多い。人がいるのに横断歩道で車が止まらないのだろうか。歩行者が飛び出して事故にあう場合もあるかもしれない。

資料1・2からわかったこと

- ㊦ 信号を守ったり歩行者優先である横断歩道を渡ったりと、交通ルールや安全に気をつけて歩行していても事故にあっていて。
- ㊧ 交差点や道路を横断する時には、**F** 必要があるのではないだろうか。

- ① **C** に、資料1から読み取れることを書きなさい。
- ② **D** と **E** に当てはまる言葉の組み合わせを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- ア D通行中とE横断中    イ D横断中とE通行中
- ウ D遊戯中とEその他    エ D遊戯中とE横断中

- ③ **F** に当てはまる最もふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- ア 自分の目で確実に、信号が青になっているか見る
- イ 少し遠回りになっても、確実に横断歩道を渡る
- ウ 信号だけでなく、周りの車の存在をよく見る
- エ 交通ルールをしっかり守っているか再確認する



- ④ 真さんはさらに、長野県観光部のウェブページで資料3を見つけ、それをもとに話し合い2をしています。

話し合い2

真：資料3を見ると、長野県は信号機のない横断歩道を渡ろうとする人がいる時に、車が止まる割合が日本一なんです。資料3 信号機のない横断歩道で車が止まる割合

愛：でも、100%ではないですね。平成29年は、G %も止まらなかったといえます。

真：そうか。この資料3を見ると、資料1・2からわかったこと ㊸は改めて正しいと思いました。実際、運転手はどう思っているのか聞いて確かめたいです。

	平成28年	順位	平成29年	順位
長野県	48.3%	1位	64.2%	1位
全国平均	7.6%		8.5%	

(長野県魅力発信ブログなどより作成)

- i) G に入る数字を書きなさい。
- ii) 真さんが下線部 a のように思った理由を、資料3と関連づけて50字以上60字以内で書きなさい。
- (3) 真さんは町で運転手に、横断歩道を渡ろうとする人がいる時に止まらなかったことがあるか聞き、そのインタビューの結果をもとに話し合い3をしています。

話し合い3

真：インタビューの結果を見る前は、なぜ車は止まらないのかと思っていましたが、H の理由を見ると、b 歩行者の動きも関係している と思いました。

仁：歩行者の交通事故を減らすには、ぼくたちもよく考えて歩いた方がいいね。

真：そうですね。交通ルールを守ることはもちろんだけど、I ことが大切だと思いました。

インタビューの結果：運転手が横断歩道で一時停止しない理由上位4つ

順位	理由
1位	自分の車が停止しても対向車が停止せず危ないから。
2位	後ろから車が来ないので、自分が通り過ぎれば歩行者は渡れるから。
3位	横断歩道に歩行者がいても、渡るかわからないから。
4位	一時停止した時に、後続車から追突されそうになるから。

- ① 真さんが下線部 b のように感じたインタビューの結果について、H に当てはまる理由の順位を、1位～4位の中から1つ選び、書きなさい。また、歩行者の動きをどのようにしたらよいか、あなたの考えを10字以上20字以内で書きなさい。
- ② 話し合い2・3をもとに、I に入る最もふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p> <p>エ</p> | <p>横断歩道で人が渡ろうとする時に、車が100%止まることをめざす</p> <p>信号機に従ったり横断歩道を渡ったりして、交通事故にあわない</p> <p>歩行者は車の運転手のことを思いやって、道路を横断しないようにする</p> <p>歩行者も車もお互いの動きをよく確認し、相手を思いやりながら通行する</p> |
|-------------------------------------|--|

しかしながら、注意すべきことがあります。従来、方言は多くの人々にとって「場面や人による使い分け」が意識されるものであることに加え、方言や共通語に対する捉え方は地域によって大きく異なるということです。どの地域の言葉をとどのような文脈で用いるにしても、自分自身とは異なる価値観を持つ人が存在していることは常に意識しておくべきでしょう。

**B** 言葉・支え合う言葉としての方言

平成二十三年三月に発生した東日本大震災の折、被害の甚大であった地域の方言を用いた「がんばっぺ○○」のような応援メッセージが自然発生的に用いられたことは多くの人々の記憶に新しいところでしょう。平成二十八年四月の熊本大地震の際も同様な動きがより早く認められました。これは、方言が元々私的な場面における本音の言葉という機能や地域の一体性を感じさせる働きを持つのに加え、近年の全国的な方言に対する肯定的価値観の高まりが<sup>①</sup>この動きを後押ししたと解釈できます。一方に「よそ」の人が地域の言葉を使うことに対する疑念や、それによる方言の誤用への抗議の声があることも事実ですが、被災地の人々の「地元の方言を用いたメッセージ」には「共通語での応援に比べ親近感や好感を持つ」という意見が強いことも指摘しておきたいと思えます。

(文化審議会国語分科会「分かり合うための言語コミュニケーション(報告)」より)  
(作問の都合上、横書きの文章を縦書きに直してあります。)

※普及：広く一般に行きわたること。

※象徴：考えや気持ちなど、言葉で説明しにくいことを、何かの物や色・音などでたとえて表すこと。また、表されたもの。

※喚起：よび起こすこと。

※解釈：文章や物事の意味を、受け手の側から理解すること。また、それを説明すること。

ア	共通する	イ	優先	ウ	歴史的な
エ	活用	オ	現実的な	カ	習得
キ	つながる	ク	保持		

(2) ①「この動き」が指している内容を、二十五字以上四十字以内で書きなさい。

(3) 本文には、「方言」と「共通語」について、それぞれのような特ちょうがあるかと説明されていますか。また、「方言」と「共通語」の使い方について、あなたの考えを次の条件にしたがって書きなさい。

**条件**

- ・二段落構成としなさい。
- ・一段落目には、本文中の言葉や文を「」で引用して、「方言」と「共通語」それぞれの特ちょうについて書きなさい。
- ・二段落目には、一段落目に書いた「方言」と「共通語」の特ちょうをもとに、「方言」と「共通語」の使い方について、あなたの考えを具体的な体験や理由を挙げながら書きなさい。
- ・文字数は、一六〇字以上二〇〇字以内として一行目から文章を書くこと。また、句読点が行の最初にくる場合は、前の行の最後のます目に文字と一っしょに書くこと。なお、書き出しや段落を変えたときの空白になるます目も一字に数えること。

【問4】 香<sup>か</sup>さん<sup>わり</sup>は、授業で「方言」と「共通語」について学習し、興味をもち、調べたところ、次の文章を見つけました。

「方言使い分けの時代」から「方言 A の時代」へ

方言と共通語について、国民の約八割は「相手や場面によって使い分ければよい」と考えており、「方言はできるだけ使わない方がよい」は二割以下です（平成二十二年度「国語に関する世論調査」。「方言使い分け」を肯定する人々が多数派を占める背景として、教育やマスメディア、特にテレビ放送を通じ、共通語が全国に広く普及<sup>ふくま</sup>したことを指摘<sup>し</sup>できます。一九七〇年代末ぐらまでは、方言を低く見る考え方が根強く残っていましたが、共通語が定着するようになった一九八〇年代以降<sup>いこう</sup>になると、誰でもが使えるわけではない方言に肯定的価値<sup>かち</sup>が見いだされるようになりました。それにより、方言は「地方の時代」、「個性の時代」にふさわしい地域<sup>ちいき</sup>アイデンティティー（独自性）の象徴<sup>しやうちゆう</sup>として、地域振興の有効な資源<sup>しげん</sup>としても注目を集めるようになりました。近年ではその傾向<sup>けいこう</sup>は一層強まり、二〇〇〇年代中頃<sup>ちゆうころ</sup>には、方言を携帯メールに取り入れるための若者向けの方言辞書が多く出版されたことなどから、「方言ブーム」を指摘する報道等も現れました。そのような時期を経て、方言を肯定的に捉<sup>とら</sup>える話題に事欠かない「方言 A の時代」となっています。

一方、関西人でもないのに「なんでやねん。」と「つつこむ」など、「よそ」の地域の方言を使うような言語行動が近年目に付くようになってきました。これは方言が、地域と実際に結び付いた生活のための言葉としてだけでなく、人々に喚起<sup>かんだき</sup>するイメージを利用して、それらしく演出的に使われる言葉という側面も持つようになったことと強く関連します。

香<sup>か</sup>さん<sup>わり</sup>は、「相手や場面によって使い分ければよい」について、さらにくわしく知りたいと思い、別の資料も調べ、「方言」と「共通語」の使い分けが必要な場面を考え、次のメモにまとめました。

メモ

【ちがう地方の人と会話する場面】

都道府県	方言	意味
富山	ネマル	すわる
鹿児島	ゲンナカ	はずかしい
北海道	ナゲル	すてる

ちがう地方の人同士が会話する時に、意味が通じなかったり、誤解<sup>ごかい</sup>が生じたりする。

【公的な場面と私的な場面】

・公的な場面：より多くの人に、事がらや気持ち<sup>きもち</sup>が正確<sup>せうさく</sup>に伝わらなければいけない。

各問いに答えなさい。

- (1) 文章中の A ・ B それぞれに入る言葉を、次のア～クから一つずつ選び、記号を書きなさい。

